

あとがき

編集顧問

糸満盛憲
越智隆弘
小野啓郎
竹光義治
守屋秀繁
富田勝郎
山室隆夫
矢部 裕

編集主幹

菊地 臣一
編集委員
黒坂昌弘
清水克時
高岸 憲二
土屋弘行
戸山芳昭
内藤正俊
吉川 秀樹

編集同人

井形高明 澤村 誠志
生田義和 田辺剛造
井樋栄二 田畑四郎
岩田 久 玉置哲也
岩本幸英 中村耕三
大井利夫 馬場久敏
小野村敏信 浜西千秋
加藤博之 廣谷速人
金田清志 佛淵孝夫
腰野富久 三笠元彦
紺野慎一 三浦隆行
柿田喜三郎 持田讓治
酒 匂 崇 山田治基
桜井 実 吉川靖三

厚生労働省(厚労省)は、がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病の4疾病に対して、医療法第34条内に省令として定めて重点的に疾病対策事業を展開してきた。その概要は、4疾病については厚労省主導による事業として医療計画を明示し、それらに対応した医療連携体制を構築して広範かつ縦断的な医療を提供し、国民の健康保持を図ろうというものである。これら4疾病は、患者数が多く、直接の死亡率が高いか、または限りなく死因に影響するもので、緊急性の高い疾患群とされている。ところが最近、この4疾病に加えて新たに精神疾患が取り上げられ、5疾病が今後の重点的対策事業となった。実際、平成21年のデータによれば、死因順位別の死亡数は、第1位が悪性新生物(がん)で34.4万人、2位が心疾患で18.1万人、以下、3位脳血管疾患12.2万人、4位肺炎11.2万人、5位老衰3.9万人、6位不慮の事故3.8万人、そして7位が自殺で3.1万人となっている。何と、自殺による死亡数は糖尿病による死亡数1.4万人の約2倍とのことである。また、平成20年の患者調査では、その患者数が悪性新生物152万人、脳血管疾患134万人、心疾患81万人、糖尿病237万人に対し、精神疾患は323万人となっている。確かに、私どもの一般整形外科診療においても、そして一般社会を見回しても、年齢を問わず精神疾患の患者さんは明らかに増加しているように思える。実際、慢性腰痛なども精神的要因が大きく関与していることがエビデンスとして示されている。今後は、認知症やうつ病などを中心に、厚労省主導による大規模な対策事業が行われるはずである。当然、莫大な研究費が投入され、全国規模での調査・介入研究、基礎研究が展開されるであろう。

では、われわれ整形外科が扱う運動器疾患はどのようなであろうか。介護予防対策として、新健康フロンティア戦略の中で運動器疾患対策事業が展開されているが、本当は高血圧や糖尿病と同じくらい、いや、それ以上に運動器は健康維持に重要なはずである。しかしながら、それを証明するような確固たるデータが明らかに不足している。ぜひとも、次の機会には運動器疾患を厚労省の重要疾病に加えていただき、6大疾病の一つとして運動器疾患対策事業がスタートすることを願っている。そのために、2万3千人の大組織である整形外科学会主導で、厚労省や国民から認められるようなデータを構築していく必要がある。運動器疾患により、どのような経過で、どのような病態で、どれだけが真に要支援・要介護に繋がるのか、また、どの程度、どのように生命予後に影響を及ぼすのか、しっかりしたエビデンスを示す必要がある。メタボリック・ドミノでは、最終的に透析や失明、下肢切断、脳卒中、心不全へと進むことが証明されている。では、ロコモティブ・ドミノによる場合はどのような経過を辿るのであるのか。それらのデータを基に、運動器疾患に対する診断基準の明確化と治療法の標準化を進め、しっかりした専門医制度の構築を行い、患者さん中心の医療を展開すれば、必ずや行政と国民から大きな信頼が得られるはずである。今後に期待したい。

さて、本号には頸部痛に対する国際的評価法(NPDS)日本語版開発の報告から、地方における整形外科専門医の実態や腰痛に対する調査報告、そしてスポーツ関連のLECTUREや連載、さらに極めて参考となる臨床経験や興味ある症例報告など多数掲載されている。本号が発刊される頃は、ちょうど秋の学会シーズンに入っているかと思うが、それぞれが示唆に富む論文であり、移動中の飛行機や列車の中などでぜひ本誌に目を通していただけたら幸いである。(戸山芳昭)

臨床整形外科 (第46巻第10号)

2011年10月25日発行(毎月1回25日発行)

定価2,520円(本体2,400円+税5%)

2011年間購読料(税込、送料弊社負担)

冊子のみ 29,400円

冊子+電子版 38,300円

電子版/個人 29,400円

電子版/共有 33,810円

E-mail rinseige@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinseige>

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 編集室直通 (03)3817-5702(担当:石井・山崎)

販売部直通 (03)3817-5659・5660

ファクシミリ (03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 (株)アイワード 電話 (011)241-9341

広告申込所 (株)医薬広告社 電話 (03)3814-1971

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 2011, Printed in Japan.

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・**JCOPY**® (株)出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。